

## 高知大学整形外科専門研修プログラム

● 募集人数…6名/年 ● 選考方法…書類選考および面接

研修期間  
4年プログラム責任者  
からのメッセージ整形外科  
教授 池内 昌彦

高知大学整形外科教室は昭和56年に開講し、35年以上にわたって若手整形外科医の「育成」に力を入れてきました。教室出身者は県内外で活躍しており、若手医師の教育に熱心な先輩医師が大勢います。今回、教室のモットーのひとつである「育成」をさらに強化する形で本プログラムを作成しました。大学院では関節外科、スポーツ、脊椎脊髄外科を中心に手外科や骨軟部腫瘍など全ての領域において大学ならではの最先端医療を経験していただきます。連携施設では外傷を中心に基本的技術と知識を習得していただきます。執刀経験手術数は医師過剰の都会では経験できないような数になるでしょう。いままで以上に大学と連携施設の先輩医師は「育成」の準備をして先生方が来るのを待っています。本プログラムを通じて一人前の専門医になっていただき、高知県の整形外科医療と一緒に盛りあげて行きましょう。

## プログラムの特色

大学院と連携施設ではシームレスな教育体制を整えており、プライマリ・ケアや地域医療から最先端の医療や研究まで幅広い学習が可能です。この研修プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力(知識・技能・態度)が身についた整形外科専門医となることができます。

## 連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色	手術数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	池内 昌彦 教授 他10名	関節外科・スポーツ、脊椎脊髄外科、手外科、骨軟部腫瘍、リウマチほか	736
	高知県立あき総合病院	森澤 豊 部長 他1名	外傷、上肢	388
連携施設	高知赤十字病院	十河 敏晴 部長 他2名	脊椎脊髄外科、関節外科、外傷	1449
	高知県立幡多けんみん病院	北岡 謙一 部長 他1名	外傷、関節外科	848
	くぼかわ病院	川添 健生 部長 他3名	外傷、脊椎脊髄外科	219
	須崎くろしお病院	山中 紀夫 部長 他1名	外傷、関節外科	287
	細木病院	山川 晴吾 部長 他2名	小児、外傷	356
	倉敷成人病センター	三好 信也 部長 他4名	関節外科、手外科、リウマチ	363

プログラム  
到達目標

経験すべき疾患・病態、診察・検査、手術処置等は、「整形外科専門研修カリキュラム」(日本整形外科学会HP参照)に明示された症例数以上を高知大学医学部附属病院及び連携施設で偏りがないように経験すること。自立して、誠実に、自律的に医師としての責務を果たし、周囲から信頼される整形外科医師になること。

専攻医  
週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	総回診、外来	外来	手術、病棟業務	外来	手術、病棟業務
午後	検査	手術、病棟業務	手術、病棟業務	検査	手術、病棟業務

専門医  
取得までの  
タイムスケジュール

本研修プログラムでは、専門技能を「整形外科専門研修カリキュラム」(日本整形外科学会HP参照)に沿って研修し技能の習得状況を6ヶ月毎に評価します(自己評価および指導医評価)。専門研修プログラム管理委員会による専攻医面接を年1回行い、評価したデータをまとめた評価表を参照し、技能習得に関する目標設定・取得単位調整・指導を行います。専攻医の過半数が獲得できていない技能があれば、これを獲得するためのセミナーを専門研修プログラム管理委員会が開催します。

## 取得可能専門医

● 整形外科専門医  
● 手外科 ● 脊椎脊髄外科 ● リウマチ主要症例名と  
実績数

大学院では、関節外科、スポーツ整形、脊椎脊髄外科を中心に、手外科、骨軟部腫瘍、リウマチなど整形外科全領域にわたって専門医による診療を行っています。特に、トータルスポーツクリニック、脊椎脊髄センター、リウマチセンターなどで行われる診療科の枠組みを超えた診療が特徴です。

代表的な手術(年間症例数)は、人工膝・股関節置換術(140-150例)、脊椎脊髄手術(240-250例)、膝帯常再建術(30-40例)、肩腱板修復術(20-30例)、骨軟部腫瘍手術(40-50例)などです。

指導医の  
声講師  
川崎 元敬

高知大学整形外科は、開講当初から、創意と情熱を持って診療や研究に取り組み、若手医師の育成に力を注いでいます。そのため、各専門分野において、経験豊富で教育熱心な指導医が学内外に充実しており、基礎から最先端の専門的な知識や技能を幅広く習得することができます。また、専門や世代の垣根が低く連携を取りやすい雰囲気の良い環境ですので、充実した専門研修になることでしょう。皆さんと一緒に運動器医療に取り組めることを楽しみにしています。

助教  
岡上 裕介

下肢関節・外傷・リウマチ担当の岡上です。皆さん、高知で、しかも大学で研修してもメリットがないと思いませんか？ 決してそんなことはありません。多数の専攻医を抱える病院とは異なり、1人あたり経験できる症例が多く、きめ細やかな指導が約束されています。整形外科は、たくさんの分野を含む科です。一通りの一般的な整形外科医としての技量を身につけた上でさらに自分の得意分野を持って、専門医への道を進んでいただきたいと考えています。皆さんの高知大学整形外科研修プログラムへの参加を、豊かな自然、おいしい食べ物、お酒とともにお待ちしております。

先輩の  
声医員(レジデント)  
高谷 将悟

2013年度入局の高谷将悟です。学生時代は運動部に所属し、運動器に興味をもっていましたが、初期研修中にさらに興味を持ってたため入局しました。現在大学病院で勤務しており、医局の先生方のご指導の下、臨床に研究に充実した日々を過ごしています。とても馴染み易く、いつの間にか溶け込めるような雰囲気の医局だと思います。興味のある方はぜひ見学に来てください。

● 医員(レジデント) 奥平 真弓

● 医局員の人数が多くないので時に日々の業務に追われることもありますが、その分診療・手術に積極的に参加できる機会がたくさんあります。整形外科はまだまだ女性医師が少ない科の1つで、当医局では現在私を含め2名です。医局員のみならずおかげで特に女性がどうということなく公私ともに充実した日々を過ごしています。医局員全員が入局を希望する女性医師をお待ちしています。



問い合わせ先

● 教室名/整形外科  
● 担当者名/川崎 元敬  
カサキ モトヒコ

● 電話/088-880-2386

● メール/im35@kochi-u.ac.jp